

## さくら野百貨店跡地への市役所移転に関する署名のお願いについて

時下 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

現在、福島市においては、長年にわたる検討を経て市役所本庁舎の新築計画が進められています。現在地に建替えるため、用地の買収も進行していますが、建設費・用地費ともに福島市の財政状況から見て極めて大きな支出を伴う内容となっています。

こうした折、中心市街地の核施設であるさくら野百貨店が閉店することとなりました。その跡地利用については、未だ目処が立たない状況にあり、空きビルとなれば中心市街地の空洞化にさらに拍車がかかることが懸念されています。

現在の市庁舎建設の計画を見直し、さくら野百貨店の跡地を活用して市役所の機能が整備されれば、200億円程度かかるといわれる現在地での建替えに対して、土地(約5千坪)・建物の取得費及び改修工事費等を勘案しても60億円程度の費用で済むこととなり、今後ますます厳しくなることが予想される福島市の財政に大きく寄与することができます。これによって生み出される財源により、それぞれの地域の防災拠点となり得る小中学校の耐震工事をはじめ、今後の福島市に必要なまちづくりや少子・高齢社会を見据えた教育・文化・福祉等の事業を充実させることもできます。

また、この建物を、従来の市役所機能だけでなく、市民やNPO等との連携と協働の拠点機能や一部に商業施設や映画館等を取り込むなど、市民に開かれた新しい時代の親しまれる市庁舎として再生することにより、現在行われているさまざまな取組みと連携して、中心市街地の活性化に大きく貢献することができます。

この移転を進めるにあたっては、現在計画が進められている市役所周辺の皆様に対する十分な配慮と当該地域のより良いまちづくりの計画が示されることを前提に、将来を見据えた福島市のまちづくりの問題として、29万人の市民全体の議論とする必要があると存じます。

つきましては、趣旨にご賛同いただき、署名のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、皆様からいただいた署名は、福島市長および福島市議会議長に提出いたします。

平成 17 年 3 月 16 日

福島商工会議所	会頭	佐藤勝三
福島経済同友会	代表幹事	友田 昇
福島経営者協会	会長	石本 朗
社団法人福島青年会議所	理事長	但木 傑
福島市の将来像を考える市民意見交換会		
	主宰	吉野裕之